

令和7年度（4月～9月）各支援センターの主な取り組み（事業計画）

◆全体的な取り組み内容

市が行っている介護予防・日常生活支援総合事業が国のガイドラインにより変更され、変更の主旨である、地域のつながりの中で、地域住民の主体的な活動を促進し、専門職が関わりながら、高齢者自身が選択できるような地域づくりをめざすために地域包括支援センターを中心に関係機関と連携しながら、支援体制構築の取り組みを実施する。

センター名	主な取り組み
(基幹型) 三田市 地域包括 支援センター	<p>●後方支援・機能強化【重点目標Ⅱ-1地域包括ケアを充実します】 制度改正に伴う介護予防・日常生活総合事業の方向性について、地域福祉支援員など関係機関と協議を行い、介護予防へつながる地域づくりについて検討を行う。</p> <p>●認知症高齢者及びその家族等への支援【重点目標Ⅱ-4認知症高齢者への支援を充実します】 今年度実施されるチームオレンジ活動について、認知症普及啓発、認知症サポーター養成、認知症カフェ支援等の体制整備を行い、認知症の方や家族などの支援を行う。</p> <p>○制度改正に伴う総合事業の現状について、高齢者支援課、市内6カ所で地域活動を支援している地域福祉支援員の統括職員、基幹型の3者で上半期で2回協議を行った。現存の活動者への支援に合わせて、新たな介護予防事業について検討を継続していく。 ○地域包括支援センターと兼務をしている認知症地域支援推進員の連絡会を2回開催。チームオレンジコーディネーターの役割理解を深めるため、県派遣によるオレンジチューターによる講義を実施した。また、チームオレンジの第1回交流会を開催。オレンジチーム員メンバー、認知症地域支援推進員、当事者、事業所 延べ16名参加し、グループワークを行い連携を深めた。</p>
(地域型) 三田市 地域包括 支援センター	<p>●地域におけるネットワーク構築【重点目標Ⅱ-1地域包括ケアを充実します】 関係機関・団体（病院、事業所、行政、店舗等）と連携を進め既存の機関等を活かしたネットワークを強化し、地域包括ケアシステムの推進を図る。</p> <p>●介護予防活動の支援及び人材育成【重点目標Ⅰ-3介護予防を充実します】 いきいき百歳体操への定期的な関わりにより、活動継続を支援するとともに、いきいき百歳体操等介護予防活動の支援及び人材育成（活動支援者）を行い、体験会実施により新規立ち上げにつながるように支援を行う。</p> <p>○医療機関からの在宅復帰にむけてなどの個別カンファレンスを延べ8件実施し、関係機関との連携体制構築を行っている。また、三田・三輪地区民生委員児童委員協議会へ参加し、介護保険制度の講話を実施するなど民生委員との関係性づくりや、地域活動の松が丘まちフェスへ参加し、地域活動者と基幹型、明治安田と協働で実施し、地域との連携を図った。 ○域内のいきいき百歳体操は9グループが活動中であり、グループへ訪問し、健康講話や体力測定を実施。また、いきいき百歳体操体験会を実施し、興味がある地域活動者と連携し、大原荘園ふれあい会にていきいき百歳体操体験会、立ち上げ支援を経て、月1回の開催へつなげた。</p>
フラワー 地域包括 支援センター	<p>●介護予防の普及啓発【重点目標Ⅰ-3介護予防を充実します】 地域の社会資源を活用し、介護予防啓発を実施する。身近な場所で健康講話を行うなど、今まで接点が少ない元気な高齢者へ健康寿命向上のための啓発を行う。</p> <p>●認知症当事者の居場所づくりや家族支援【重点目標Ⅱ-4認知症高齢者への支援を充実します】 認知症当事者の居場所づくり、家族支援、地域への啓発として、認知症カフェの運営を継続する。また、認知症当事者の社会参加、意思決定支援、仲間づくりを目的とした当事者主体のプログラムを実施する。</p> <p>○フラワータウン（FT）市民センターでの集団検診に参加し、地域包括支援センターの周知に取り組んだ。薬局と協働し、フレイル予防講座を実施した（23名参加）。コープと協働で男性の社会参加促進のため「男の料理教室」を実施した（15名参加）。いづれも基幹型、明治安田の協力のもと、体組成測定・ベジチェック・血管年齢測定を取り入れた。 ○9月世界アルツハイマー月間での啓発展示を2ヶ所で開催（FT市民センター・コープ三田西）し、無関心層への啓発に取り組んだ。地域包括支援センター認知症カフェには、当事者、家族等約30名が参加、ボランティアは20名が登録している。地域活動者が行っている認知症カフェについても、運営相談など後方支援を実施。認知症当事者の社会参加・意思決定支援の機会として、「おでかけ紳士会」、本人ミーティングを開催。当事者の言葉を認知症講座や認知症カフェを通じて地域と共有し、認知症の理解を促進している。</p>

センター名	主な取り組み
ウッディ 地域包括 支援センター	<p>●認知症高齢者及びその家族等への支援【重点目標Ⅱ-4認知症高齢者への支援を充実します】 認知症の方を支援する人へ幅の広い活動ができるよう、地域福祉支援員、ボランティア活動センターと協働し、ボランティア養成講座の開催を実施する。また、認知症の方も含めた当事者がそれぞれの生きがいを感じられる活動について支援を行う。</p> <p>●介護予防ケアマネジメント【重点目標Ⅰ-3介護予防を充実します】 ケアマネジャーに地域のインフォーマルサービス（いきいき百歳体操グループの案内等）の情報提供を行い、要支援者が多様なサービスを受けられるためのケアプラン作成の支援を行う。</p> <p>○認知症の啓発展示をウッディタウン市民センターをはじめ、商業施設で実施（3か所：イオンウッディタウン店、ネットトヨタ、えるむプラザ）。小学生を含めた低年齢層への啓発ができた。また、認知症当事者が社会の一員として自分らしく生きがいを持って暮らし続けられるように公園の園芸ボランティア等の活動を通じて他の公園などを散策する「お出かけ会」を地域福祉支援室と連携し、定期的に活動内容を検討しながら継続的支援を行っている。 ○今年度4月よりケアマネジャー向けにウッディ地域包括支援センターだよりを毎月発行し、「いきいき百歳体操」「認知症の居場所」などの地域の情報提供し、利用者にあったケアプラン作成の支援を行った。</p>
藍 地域包括 支援センター	<p>●地域におけるネットワーク構築【重点目標Ⅱ-1地域包括ケアを充実します】 介護者のつどいの運営を通して、継続的な開催につながる地域福祉支援員など関係機関と連携し、認知症カフェの開催への取り組みや地域の活動者が主体的に活動できる場として支援を行っていく。</p> <p>●介護予防ケアマネジメント【重点目標Ⅰ-3介護予防を充実します】 フォーマルサポートだけではなく、インフォーマルサポートを取り入れた支援を実践し住み慣れた地域で安心した暮らしが出来る支援を継続する。</p> <p>○包括センター職員や介護者、地域活動者で構成した介護者のつどい「であいの手」で協力して事業計画を作成し、事業運営を行った。今後「認知症カフェ」の活動につながる取り組みを実施を予定しており、地域の大学の湊川短期大学へ活動内容の情報提供し、連携協力依頼を行った。 ○支援者として利用者の思いに寄り添いながら、利用者本人が望まれる暮らしの実現のため、フォーマルサービスや医療との連携を図り、地域のNPO法人（アユート）が実施する通所サービス活動A、訪問サービス活動Aをケアプランに活用しながら支援を行っている。</p>
三輪北・ 小野・高平 地域包括 支援センター	<p>●地域におけるネットワーク構築【重点目標Ⅱ-1地域包括ケアを充実します】 対象地域が広い為、出張による相談を継続実施し、地域活動者、各種団体等関係者と連携し、地域ニーズや社会資源等の情報共有や、地域活動の活性を図り、ネットワークの構築を図る。</p> <p>●介護予防ケアマネジメント【重点目標Ⅰ-3介護予防を充実します】 地域活動者主体の通所サービスへ継続的にモニタリングを行い、参加している利用者の心身の状況に応じた切れ目のないサービス利用の支援とともに利用者の状況について活動者やケアマネジャーにとって、適切なサービス利用となるように支援する。</p> <p>○定期的に出張相談を実施しており（志手原つながり広場月2回、高平さとカフェ月1回）、高平地区では、出張相談のさらなる活用をめざし、スタッフから広報誌での啓発等提案があるなど、若い世代のスタッフとの関わりも増加している。また、志手原校区地域づくり協議会の地域計画策定に係る意見交換会に参加し、地域課題の共有を行った。 ○通所サービス活動AであるNPO法人（ふくろう高平）へ月1回の訪問を行っており、利用者の健康チェック、スタッフとの情報共有を行いながら、NPO法人の事業実施を支援し、また、利用者の心身機能の状態に応じた介護申請の補助を行うなどの支援を行っている。</p>
広野・本庄 地域包括 支援センター	<p>●地域におけるネットワーク構築【重点目標Ⅱ-1地域包括ケアを充実します】 地域見守り支援において、災害時対策の支援の観点から専門機関と連携し、個別地域ケア会議などを活用し地域の見守りネットワークを支援する。</p> <p>●認知症高齢者及びその家族等への支援【重点目標Ⅱ-4認知症高齢者への支援を充実します】 認知症に関する相談について、個別性・地域性に合わせ広報紙による情報提供、啓発展示、映画会や講演会等の地域事業などを通して、認知症に関する知識や理解の啓発を行う。</p> <p>○広野地区防災講座に出席し、災害時対策のため、地域見守り支援や関連機関の連携が必要性を説明し、関係機関での会議（地域ケア会議）を提案を行い、連携の強化に努めた。 ○認知症啓発展示を広野市民センターにて実施し、啓発資料について、広野・本庄地区内にあるグループホーム2施設に協力により作成を行った。また、幅広い世代に認知症に関する知識を深める機会を設けるため、広野・本庄地区内にある小中学校へ認知症サポーター養成講座を提案し、実施を予定している。</p>